



NEWS

2021. 5. 17

162

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502

Phone.078-612-2402/FAX 078-612-3052/E-Mail kfc@social-b.net

デイサービスセンターハナの会 Phone&FAX 078-612-2408

グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ Phone.078-798-5475・4/FAX 078-798-5476

ハナ介護サービス Phone. (居宅)078-646-8671 (訪問) 078-646-8670/FAX 078-612-3052

ふたば国際プラザ Phone.078-747-0280/FAX 078-747-0290

◆留学生等ボランティア事業の振り返り

コロナ禍で多くの留学生が収入源を失い困窮したことを受け、神戸市及び神戸国際コミュニティセンター(KICC)からの受託事業として、有償ボランティア事業を実施しました。市街地の公園や商店街の清掃活動、外国人の視点によるハイキングコースの多言語サインチェックといった活動に対し謝金を支払い、一時的な収入源として頂きました。

2020年6月～8月にかけて実施した第一弾では、参加者は「BE KOBE」とロゴの入った青いユニフォームを着て、新長田や三ノ宮、ポートアイランド周辺や海岸、各地の商店街の清掃活動、ふたば学舎の消毒・清掃作業を行いました。清掃活動ではただゴミを拾うだけではなく、地元の方が普段はできないガム取り作業や側溝の泥撤去も行いました。

第一弾事業が終了する8月になっても依然として支援を求める声があったことを受けて、神戸市在住・在学であること、収入の減少、奨学金の非受給、或いは特に支援を必要としている事情があることを参加条件として、2020年9月～2021年3月にかけて第二弾を実施しました。第二弾では地域のボラ

ンティア団体や長田区社会福祉協議会、兵庫区役所といった関係先とも連携して湊川隧道、近隣の児童館、西区の竹林や総合運動公園の池など多様な現場で活動しました。また、清掃以外にも英会話教室や学習支援教室の補助、地域のお祭りの手伝いなど能力や関心に合わせて様々な活動に参加してもらいました。こうした活動では街行く人や地元の関係者から感謝の声を頂くこともでき、留学生が地域とのつながりを感じられる機会にもなりました。

参加者は日本語学校、大学、大学院の在学学生や卒業後に帰国できなくなった人、或いは難民申請中の方なども含め第一弾で208名(23か国・地域)、第二弾で123名(19か国・地域)が参加登録し、のべ3,753名が参加しました。参加者からは「活動に参加したおかげで母国へ帰る飛行機のチケットが買えた」「この事業のおかげで無事に卒業することができた」とお礼の言葉を頂くこともあり、事業が一定の役割を果たしたと感じました。

一方で、コロナ禍はまだ続いています。参加者の話を聞くと、接客、飲食、観光業とい

った種類のアルバイトはシフトが減ったりなくなったりしたままのようです。また、来日間もない日本語学校の学生や、英語で学んでいる大学院生は日本語が苦手なことが多く、特に苦境にあります。昨年の秋ごろには日本語学校の学生が新たに来日しており、その後感染が再拡大して事業への申し込みが急増する事態もありました。事業が終了する頃になっても活動の継続を求める声がありましたが、予算の都合上区切りをつけざるを得ませんでした。

今回の事業では留学生といっても日本での滞在歴や所属(日本語学校か専門学校か、大学か大学院か)等々によって語学力やコミュニケーション力に大きな差があり、家族を扶養していたり借金があったり、コロナ禍がなくても元々ぎりぎりの生活をしているなど、多様な状況に直面しました。就職や進学、子育てなど、地域に根付いていく人もいる中で、地域社会の一員として継続的な支援の検討と行動が必要です。(大石 貴之)

KFC 日本語プロジェクト

◆「水曜日のお化け」 日本語教室のある日のテーマ

3月に第2回目の緊急事態宣言が解除され、新しい学習者や支援者が増えてきました。4月始め、水曜日の教室には学習者11名、支援者7名のメンバーが揃いました。水曜日の教室のやり方は、始めの1時間を1つのテーマにそって全員で話し、後半の1時間をレベル別、個別学習の時間としています。

4月21日のテーマは「お化け」、それぞれのお国のお化けの紹介です。日本代表は幽霊としてお岩さん、お菊さん、妖怪として天狗、河童、一つ目小僧、唐傘お化け、猫又が紹介されました。

さて、ここでクイズです。次の①～③はどちらの国の出身でしょうか？当ててみてください！①白い蛇:蛇が白い衣の美女となり人間の男性を愛する。②クミホ:9つの尻尾を持つ狐。人間になるために美少女に化け男の心臓もしくは肝を食べてしまう。③ナン・ターニー:柔らかで癒される色の服を着た美しい女、バナナの花の良い香りがする精霊。

中には怪奇現象の話をしてくれた方、自国の学校教育では非科学的なことは取り上げないという方、子どもがいたずらをしないように親が怖い話をするのだという意見なども出ました。

昨今の日本人のキャラクター好き発想で世界のお化けを並べてみたかっただけですが、その目論見は少し外れて、お化け→迷信→心理学・宗教観の話に発展しました。そうは言っても世界中どの文化圏にも想像物の物語は存在します。まだまだ知らないお化けがいっぱいです。相違点と共通点の話で盛り上がる、日本語教室の興味深い一面が垣間見られました。

では最後にベトナムの慣用句を紹介して締めくくりましょう。「夜道を歩けばオバケに出くわす」(奥 優伽子)

答え:①中国 ②韓国 ③タイ

ふたば国際プラザ

◆「ええとこながた

～多文化をたのしもう～」開催

3月28日(日)に、「ええとこながた～多文化をたのしもう～」がふたば国際プラザで行われました。子ども11名と大人5名が参加し、中には昨年引き続きリピーターのお子さんもいらっしゃいました。また、両親は日本語学習、おさんはプレスクールと当施設を日ごろ利用しているミャンマーのご家族が、民族衣装を身に着けて参加してくれました。銀色の飾りがあちこちに縫い付けてありカラフルな色彩が美しく、誰もが近寄り手にとくなるものでした。

当初はコロナ禍のため開催するかどうか悩みましたが、前回子どもたちに好評を得ていたイベントだっただけに、工夫して実施することになりました。構成としてはまず全体を2部制として人を分けた上で、定員や時間を縮小して三密対策を徹底しました。そうした制限がある中でも、今回はモンゴル語の名刺づくりや多文化クイズ、新長田図書館のご協力による絵本の読み聞かせ、コロンビアや韓国、タイの文化紹介動画の鑑賞と計4つの多彩な企画を行いました。また最後には韓国のチョコパイやおこげ飴などをお土産として渡しました。人気のある民族衣装の試着体

験は残念ながら実施できませんでしたが、参加した子どもたちからは、「いろいろな国の

ことを知ることができた」「クイズが楽しかった」「外国の挨拶を覚えられた」などの感想があったほか、もっと多くの体験をしたいというコメントも頂きました。

交流することが本来の目的ながら直接的なふれあいを諦めざるを得ないのが現状ですが、運営に当たっては新長田図書館、神戸市の多文化交流員(中国の留学生)、ふたば国際プラザの留学生スタッフ、外国にルーツをもち神戸で育った学生スタッフなどの協力や工夫により、無事に開催することができました。また、子どもたちが国や地域による文化の違いや良さを知り、さらにここ「ながた」に愛着が持てるよう発信できたことが何よりの収穫になりました。次回はコロナの影響がないことを願って、より活発な交流・相互理解の場が提供できるよう計画していきたいと思えます。

(ふたば国際プラザスタッフ 山本 則子)

私はK F Cの外国にルーツを持つ子どものための英語クラスで教えるようになって8ヶ月になります。

K F Cは子どもたちにとって単なるコミュニティセンターではなく、一緒に夢を追う楽しい家族のようなものだと言えるでしょう。子どもたちは、K F Cへの帰属意識を強く持っているように見えます。

英語クラスでは、子どもたちに超初心者のレベルから英語を教えるだけでなく、生徒たちが視野を広げ、様々な国や文化を深く理解する機会を提供しています。英語の授業では、ゲーム、ビデオ、歌、ダンス、クラフト作り、折り紙、アニマルバルーンなど、楽しみながら学ぶことをコンセプトにしています。私たちのモットーは、楽しみながら学ぶことです。子どもたちと一緒にこのような英語漬けの環境の中で活動することで、子どもたちの英語の理解力を高めることができます。

英語の勉強と活動や使用のバランス、精神的・知的・身体的な追求のバランスなど、バランスのとれた成長を重視しています。このような刺激的な学習環境では、生徒は優れた能力を発揮しようとします。このようなバランスのとれたアプローチは、教師が生徒と強い絆を持つのにも適しており、この絶妙なバランスが保たれることを願っています。

様々な活動、熱心な指導、そして洞察力により、英語クラスは、積極的に成長し、達成感を得ることができ、思いやりのある学習者を育てていくことができると確信しています。

(Walaa Mahdy)

K F C ハナの会

◆コロナ禍でのレクリエーション

コロナウイルスにより国内外においてもワクチン接種・マスクや手洗い・消毒・密の回避等様々な取り組みをされています。制限のあるなかでの筋力低下防止・孤立防止・ストレス解消に取り組む目的で、スタッフ間でのミーティングを行い【旗揚げゲーム】【発泡スチロールブロック積み上げゲーム】【庭での散歩】次々と腰を自ら上げ、腕が痛いと言われている利用者さんも我を忘れて行い、スタッフも共に笑う姿を見ると、まるで数年前のマスクも不要でウイルスに対する恐怖すらなかった時を思い出されます。

また、今年のお花見は、きれいな桜並木を車内で見て回りました。行けて良かった、見ることができて良かったと利用者が声を揃えて喜んでくださいました。スタッフ間で何回も会議して決め、利用者さんの反応が予想以上に良く、私達スタッフもうれしくて思わず涙がポロリと出ました。

いつかマスクも恐怖も不安もなく笑いあえる日が来ると信じて今を大切に皆で乗り越えていけるスタッフに感謝です。

(看護師 中野 一恵)

◆今後の予定

■2021年度 総会

5月29日(土) 14:00~15:00

ふたば国際プラザ

■ふたば国際プラザ

緊急事態宣言発令延長のため、5/12~5/31の
開館時間は10:00~17:00に変更になります。
(月曜日は休み)

■ふたば国際プラザ

○ヒューマン・シネマ上映会

6月25日(金)18:00~19:30

『IN THIS WORLD(イン・ディス・ワールド)』
(2002年・イギリス)

※5月のヒューマンシネマは中止です。